

市民※1の役割

- ・ 認知症を「自分のこと」として考える
- ・ 認知症の予防※2に努める

※1 市民とは市内に住所を有する方、市内に通勤又は通学をする方を示しています。
 ※2 予防とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

普段からの心がけ

普段からバランスの良い食事や定期的な運動を心がけ、健康増進に努めましょう。
 また、認知症についての正しい知識を身につけるため、様々な取り組みに積極的に参加しましょう。



▲家族のつどいの様子



▲認知症サポーター養成講座の様子

ポイント /
自助 自分の出来ることから

地域組織の役割

- ・ 地域の住民同士の支え合いの活動を積極的に取り組む

地域の支え合いを

認知症への正しい理解と、見守り活動など地域での支え合い、認知症の人自身が活躍できる場づくりが重要です。
 声かけ模擬訓練などの取組を通じて、日頃から隣近所や地域での支え合いの輪を広げていくことが大切です。



▲声かけ模擬訓練の様子



▲オレンジカフェで交流

ポイント /
互助 一人一人が地域社会の一員

事業者の役割

- ・ 従業員に対し必要な教育
- ・ それぞれの特性に応じた気配り

お客様のために

地域で暮らしていく中で、認知症の人やそのご家族も様々なサービスを利用します。
 特に暮らしに密着したお店では、日常の中のさりげない手助けが認知症の人の安心につながります。

認知症サポーターがいる
 お店・事業所の目印



一緒に働く仲間のために

認知症の人やその家族等が働きやすくなるように努めましょう。少しの工夫と少しの気配りで、今までの生活を大きく変えることなく働き続けることができます。



例えば
 作業手順が分からなくなった
 ☞ 手順書をつくり作業する近くにおく
 取引先との約束を忘れてしまう
 ☞ 1日のスケジュール表をつくる

SOSネットワークへの協力

一人歩きをする可能性のある方が事前登録でき、行方不明が発生した場合、ネットワークと協定を結んでいる事業所へ情報発信が速やかに行われ、行方不明者の早期発見につながります。



行方不明時は
 早期発見が大切!

ポイント /
共助 協力しあえるやさしいお店に

関係機関の役割

- ・ 専門知識を持った人材を育てる
- ・ 研究成果の情報共有、それぞれの機関との連携

関係機関とは？

医療機関、大学、介護事業所、県等認知症に関係する機関の事です。

白杵市の認知症を考える会

医師会・大学・保健所・市が中心となり、歯科医師会・薬剤師会・老人福祉施設等、多くの関係機関が連携し、最新の認知症治療等の勉強会の実施や、市民啓発のため認知症市民フォーラムを開催します。



状況に応じた適切な支援

認知症の人やその家族の状況や状態に応じ、関係機関がお互いの役割を理解し、適切に連携しながら支援を行うことが大切です。

例えば



ポイント /
専助 専門職だからできる事を

市の責務

- ・ 認知症の取組の総合的実施
- ・ 市民と連携し、必要な体制の整備

認知症の早期発見及び早期診療ができるための体制づくり

みんなと一緒に

認知症の人やその家族の声を聴き、白杵のみなさんと一緒に協力しながら、認知症にやさしいまちづくりを進めます。



▲認知症
 ケアパス

認知症の発症予防
 及び進行予防

認知症の正しい知識の普及啓発

認知症の人とその家族への支援

ポイント /
公助 全ての市民が希望をもって
 共に生きる為に

認知症支援ネットワークの構築